



福島県農業

No. **584**

題字 福島県知事 佐藤 雄平



ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

4

2013

かんしゅう ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 緑のカーテン



平成25年度予算について

福島県農林水産部長 畠 利 行

皆様方には、本県の林業の振興と県土の保全、地域社会の活性化に御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

御承知のとおり、県土の七割を占める森林は、山地災害の防止や自然環境の保全、木材の安定供給はもとより、憩いや生活の場の創出など、県民生活にとって欠くことのできない重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、東日本大震災により、民有林の海岸保安林の六割が失われるなど地震の揺れや津波による被害を受けるとともに、県内全域で原子力災害に向き合わざるを得なくなっています。そこで、震災前に策定した福島県農林水産業振興計画を見直し、本年三月、新たに「ふくしま農林水産業新生プラン」を策定し、平成三二年度までに重点的かつ戦略的に取り組む施策の方向を示したところです。

平成二五年度は、主な取組として、「みんなが安心。農山漁村防災・減災プロジェクト」に基づき、海岸防災林等の整備を計画的に推進するほか、災害から県民の生命・財産を守る治山施設の整備や、集中豪雨等の異常気象によって被災した林道等の復旧について進捗を図ります。

「ふくしまの森林（もり）元氣プロジェクト」につきましては、放射能汚染の影響で森林整備や林業生産活動が停滞し荒廃が懸念される森林において、間伐等の森林整備と放射性物質対策を一体的に実施するほか、県産材のフル活用に向けて効率的な森林整備に不可欠な路網や木材加工流通施設等の整備を支援するとともに、間伐材の利用促進のため原木市場等への運搬経費を支援します。

また、「地域資源を活用した再生可能エネルギー導入促進プロジェクト」として、木質バイオマスを原料とした発電や熱利用施設の整備を支援し、「安全・安心な農林水産物供給プロジェクト」については、原発事故の影響で利用できなくなったきのこ原木林等の再生を図るための除染技術の実証や、緊急時モニタリング検査の充実・強化、信頼回復のためのPR活動などを積極的に展開します。

さらに、原子力災害以降の森林の現状に対する理解を深めつつ、森林づくり活動の浸透及び拡大を図るとともに、復興・再生のシンボルとして全国植樹祭の平成三〇年の開催を目指し招致に取り組みます。

今後とも、本県の豊かな森林の再生と、林業・木材産業の力強い復興を実現するため、積極的に取り組んでまいりますので、皆様方の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら	普及指導員通信	9
平成25年度予算について	木連だより	10
福島県農林水産部長	森林管理署メモ	11
畠 利 行	木材市況・ふくしま東西南北	12
今年の県林業予算	はなしのひろば	13
特集『福島の桜』		7～8

今年の県林業予算

森林づくりの計画・調整

▼森林計画課

森林計画課は、森林計画関係(地域森林計画、市町村森林整備計画、森林経営計画、森林審議会、国有林との調整等)、森林環境税や森林整備加速化・林業再生基金を財源とした施策の総合調整、森林整備地域活動支援交付金事業及び森林林業関係各課の調整業務を担当しております。

■平成二五年度予算(一般会計)

○県総予算(一般会計)

一、七三一、九七〇百万円
(対前年比一〇九・九割)

○農林水産部予算(一般会計)

一〇九、四〇四百万円
(対前年比一一一・九割)

○森林林業関係予算(一般会計)

二一、八一八百万円
(対前年比一六四・四割)

今年度の農林水産部の当初予算は、今年度の大震災や原子力災害からの力強い復興を図るため、「福島県総合計画ふくしま新生プラン」及び「福島県復興計画」に基づく施策に取り組みとともに、今年三月に全面的な見直しを行った「福島県農林水産業振興計画」に掲げる目指すべき姿の実現に向けて、重点的かつ戦略的に編成しています。

■森林環境税を財源とする事業

―森林環境基金事業―

福島県では、豊かな自然環境や良好

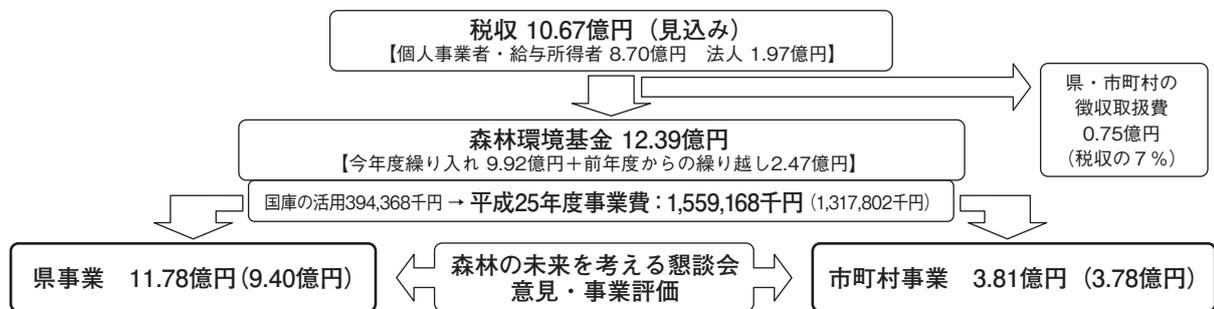
な生活環境を将来にわたって維持し、次の世代に引き継いでいくため、平成十八年四月から森林環境税を導入し、森林所有者や林業の枠組みを超えた県民参画による森林づくりの施策を展開しております。

森林環境税は、水源のかん養等の森林の持つ公益的機能を確保することが、県民生活にとって重要であることから、森林環境の保全と森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策の財源として、県民税均等割に加算する方式で納めていただいております。

納めていただいた税金は、使途が特定されることから、「森林環境基金」を設け、税収から賦課徴収経費を差し引いた額を積み立てて活用しております。また、事業実施にあたっては、第三者機関である「森林の未来を考える懇談会」の意見を聴いたり県ホームページで事業の実施状況を公表するなど、透明で公正な執行に努めております。

平成二五年度森林環境基金事業の当初予算額は一五億五、九一六万八千円で農林水産部四課、生活環境部二課、土木部及び教育庁各一課の計八課が担当します。事業の概要は、図のとおりです。このうち、森林計画課が実施する森林環境基金事業は次のとおりです。

平成25年度森林環境基金事業の枠組み(当初予算)



【単位：千円】

森林環境を保全するための事業 1,126,330 (888,260)	森林づくりの意識を醸成するための事業 52,054 (51,503)	森林環境を保全するための事業 185,376 (177,060)	森林づくりの意識を醸成するための事業 195,408 (200,979)
森林環境の適正な保全 724,769 (705,179) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化 ・施策集約化を促進するための支援 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 401,561 (183,081) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO ₂ 削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR ・需要拡大に向けた県産材の活用促進支援	県民参画の推進 38,848 (38,032) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等 ・県立学校における森林環境学習等 ・森林環境情報の発信や森林づくり活動の浸透・拡大 ふくしまの森林文化の継承 8,154 (5,281) ・県内の森林文化の調査、継承に向けた公開体験等 森林環境の調査 3,528 (4,400) ・森林整備による公益的機能や木材利用による効果等の調査研究 森林環境基金の運営 1,524 (3,790) ・森林環境基金事業の県民への広報、懇談会の開催等	森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 86,376 (78,060) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他 99,000 (99,000) ・森林整備促進事業 ・間伐材の搬出・運搬支援	森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 195,408 (200,979) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進

() は前年度当初

① 森林環境適正管理事業

森林GISを活用したインターネット上ででの森林情報の受発信等

一三三、二五六千円

② 森林環境交付金事業

市町村が地域の実情に応じて行うきめ細かな森林づくりを支援

二八一、七八四千元

③ 森林とのきずな再生事業

森林環境に関する情報発信と、全国植樹祭の招致に向けた開催理念の検討等

八、三六三千元

④ ふくしまの森林文化継承事業

福島県の森林文化調査、森林文化の公開体験等

八、一五四千元

⑤ 森林環境基金運営事業

森林の未来を考える懇談会の運営、森林環境税関連施策の検討等

一、五二四千元

■ 地域森林計画の編成

地域森林計画は、森林の持つ多面的な機能が十分に発揮されるよう、森林の保全や森林整備の目標などの基本的な事項等を明らかにするとともに、市町村及び森林所有者等に森林施業上の指針及び規範を示し、その適切な施業の確保を図るため、民有林を対象として五年ごとに十カ年の計画を策定するものです。

本年度は、阿武隈森林計画区において編成調査を行います。

二四、一七三千元

■ 森林整備地域活動支援交付金事業

森林の多面的機能を十分に発揮させ

るには、間伐等の森林整備を継続的に実施する必要があります。

当事業では、適切な森林整備・施業に不可欠な「森林経営計画」の策定を推進するため、森林所有者や森林組合、林業事業者等が実施する森林情報の収集等の地域活動を支援します。

① 「森林情報の収集活動」への支援

森林経営計画の認定を受けていない森林において、森林所有者や森林組合、林業事業者等が行う森林経営計画の策定のために必要な森林情報の収集・整理や、計画区域の検討、計画参画への森林所有者の同意取得等を実施する場合に交付金を市町村から交付します。

② 「森林整備提案型」への支援

また、森林整備に必要な森林の現地調査や路網調査を行い、その結果をもとに森林所有者に森林整備の提案を行う等、森林経営の委託契約を締結するための活動を林業事業者等が実施する場合に交付金を交付します。

四六、二七〇千元

■ 森林整備加速化・林業再生基金事業

円高による輸入材の流入に対抗できる国産材の供給体制を確立するとともに、東日本大震災による被害からの力強い復興を図る必要があります。

当事業では、路網等の生産基盤や、木材加工流通施設を整備するほか、間伐材の流通を円滑にするための運搬経費の補助するなど、川上から川下に至る一体的な取組を支援します。

① 森林整備加速化・林業再生協議会運営事業

市町村や森林組合等林業事業者、木材加工業者等で構成する協議会が行う、効果的な事業実施のための調査・調整・計画策定等に対して支援します。

八、三〇七千元

② 間伐対策事業

木材の安定供給に向け、搬出が可能な森林を対象に市町村、森林組合等が行う間伐に対して支援します。

一、四九八千元

③ 路網整備事業

森林整備の推進と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業の再生を図るため、市町村、森林組合等が実施する林業専用道路や森林作業道の整備について支援します。

一二六、六五〇千元

④ 森林境界明確化事業

森林の境界が不明であることに起因して間伐が進まない森林において、市町村、森林組合等が行う境界明確化活動に対して支援します。

二五、七四〇千元

⑤ 木材加工流通施設等整備事業

間伐材等の加工流通施設の整備について市町村を通じて支援します。

三六二、六四六千元

⑥ 流通経費支援事業

協定に基づき間伐材を製材・合板・製紙用チップ等（燃料用を除く）に利用する目的で、加工工場へ運搬した場合、その運搬経費に対して支援を行います。

三〇、〇〇〇千元

⑦ 森林・林業人材育成加速化事業

森林・林業の再生に必要な人材育成を

加速化するため、森林施業プランナー育成研修の実施や個別指導を支援します。また、造林作業等の経験を積んでいる林業従業者等を対象に、素材生産の技能習得を支援します。

三四、三二五千元

■ 森林環境モニタリング調査事業

放射性物質に汚染された森林では、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の有する多面的機能の低下が懸念されるので、広域的・継続的なモニタリング調査を行い、放射能汚染の現況や経時変化を把握するとともに、森林整備や放射性物質の低減対策を速やかに推進するために必要な調査や情報収集を行います。

① 森林環境モニタリング調査事業

森林における汚染状況の変化等を把握するとともに、低減対策の事業を選定するため、県内各地の民有林において、森林内の空間線量率や立木等の放射性物質濃度を調査し、併せて調査結果の評価・分析等を行います。

（平成二四年度補正）

三五、八六九千元

② ふくしま森林再生推進事業

ふくしま森林再生事業に係る全体計画作成や、森林所有者の同意の取り付けを円滑に進めるために必要な森林の汚染状況の現況、公図等の登記データ等の情報を森林GISに付加し、市町村に提供します。

（平成二四年度補正）

四一、二八〇千元

県産材フル活用の促進

林業振興課

林業振興課は、県産材のフル活用を
進め、木材の流通量の拡大と森林所有
者の利益を確保することにより、経営
意欲を向上させるとともに林業就業者
及び林業技術者の確保・育成を推進し、
持続可能な林業の再生を図ります。ま
た、県内で生産される林産物の安全性
を確保するため、「木材製品の検査体
制の整備」や「安全な木のこの生産」
に向けた事業を展開します。

■県産材の安定供給と利用促進

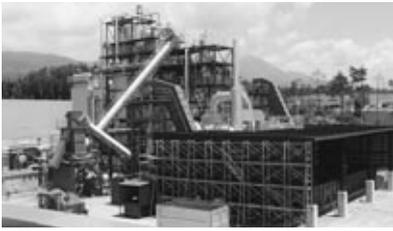
木材加工施設の整備に対する支援等
により、木製品の安定供給を図ると
ともに、公共建築物の木造化による県産
材の利用を促進します。また、併せて
木質バイオマス関連施設の整備を支援
します。

■未利用間伐材等の利用の推進

間伐材の運搬支援や、木質バイオマ
ス利用施設整備の支援などにより、未
利用資源の有効活用に取り組みます。

■低炭素社会づくりの推進

県産材によ
る木造住宅の
建設を促進す
るため、家づ
くりマイスタ
ー受講修了
者と連携した
ワークショップ
等の普及啓
発活動を実施
します。



木質バイオマス利用施設

■高性能林業機械を主体とした新しい 施業体系の導入

高性能林業
機械の導入を
支援し、ニー
ズに応じた素
材の集出荷を
図るための効
率的な作業シ
ステムの構築
を促進しま
す。また、林



放射線量の調査

業への新規就業の促進や、林業事業体
への社会保障拡充支援、林業労働者へ
の能力向上支援など、総合的な森林整
備担い手対策を展開します。

■林産物の安全性の確保

県内で生産される林産物の安全性を
確保し、経営の安定と生産の回復を図
るため、木材製品の放射線量を検査す
る体制の整備、安全な木のこの生産す
るために必要な生産資材の導入支援、
原木林等の除染実証事業などを実施し
ます。

また、県産製材品の安全性のPRを
図るための普及活動を実施します。

■放射性物質への対策

木質バイオマス関連施設への放射性
物質の影響に対処するための排ガス処
理施設等の整備を支援するとともに、
放射性物質に汚染された林産物の処理
に要する経費を支援し、木質バイオマ
スの利用促進や木材産業の振興を図り

ます。

なお、当課の予算の概要は次のとお
りです。

◆林業・木材産業の構造改善

四八、四七八千円

◆林業労働力の育成・確保

一一七、三二五千円

◆林業新規就業支援事業

・林業労働者等研修事業 等

◆高性能林業機械導入の支援

五九、二五二千円

◆木造公共建築物導入の支援

二三四、七九五千円

◆林業技術の普及指導

(二四年度補正) 八、三六九千円
(二五年度当初) 一九、一〇一千元

◆森林除染等実証事業

・日本型フォレストスター育成事業 等

◆特用林産の振興

二三八、八三四千円

◆きのこ類振興対策事業

・安全なきのこ原木等供給支援事業

◆林業試験研究施設の管理運営

一八、七一九千円

◆森林環境基金関係事業

一〇四、二四八千円

◆もつともつと木づかい推進事業

・間伐材搬出支援事業

・ふくしまの森林文化継承事業

・緑の住宅普及支援事業

◆森林整備加速化・林業再生基金事業

二四五、三三〇千円

・木材加工流通施設等整備事業

・県産材検査体制整備事業

・森林・林業人材育成加速化事業

・流通経費支援事業

◆林業・木材産業金融の充実

八三五、二四四千円

◆木質バイオマス関連施設の整備

三、〇三六、〇〇〇千円

◆放射性物質への対策

三七一、〇〇〇千円

・放射性物質被害林産物処理支援事
業

・放射性物質対処型森林・林業復興
支援業

森林の整備と林内路網の整備

森林整備課

森林整備課は、間伐等の森林整備開
係、森林再生関係、林道等による路網
整備関係、公有林・種苗関係、林道災
害復旧関係の業務を担当しておりま
す。

森林の有する多面的機能の高度発揮
や山村地域の振興等を図るために、森
林整備を適切に行い、健全な森林の整
備に取り組みます。

また、原子力発電所の事故により、
森林整備や林業生産活動が停滞し、森
林の荒廃や山村地域への影響が懸念さ
れているため、森林整備や路網整備を
推進し放射性物質低減を図る森林再生
に新たに取り組みます。

さらに、平成二三年及び平成二四年
に発生した災害により被災した林道施
設の復旧を支援します。

■森林整備関係

民有林を対象に、公共事業、森林環境基金、森林整備加速化・林業再生基金の、三つの仕組みにより、林業事業体が計画的に行う森林整備を支援します。

- ① 一般造林事業（公共事業）
三六七、八〇五千元
- ② 森林整備事業（森林環境基金）
五二五、〇〇〇千元
- ③ 森林整備促進事業（森林環境基金）
二二一、五三八千元
- ④ 間伐対策事業（森林整備加速化・林業再生基金）
九七四千元
- ⑤ 県単一般造林事業（公共事業）
一、七九七千元

■森林再生関係

原子力発電所の事故による放射能の影響により、森林整備等が停滞している森林において、森林機能を回復するため、モニタリング調査の実施や、間伐等の森林施業と路網整備を一体的に行い、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減を図る取り組みを支援します。

- ① ふくしま森林再生加速化事業
一、四〇〇千元
（平成二四年度補正）
- ② ふくしま森林再生事業
一、六三九、八八七千元
（平成二五年度当初）
- 二、四九六、八一三千元

■路網整備関係

森林の多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進や効率的で安定した林業

経営の確立、山村地域の定住環境の整備、居住地周辺の森林整備のための基盤となる路網の整備を促進します。



高性能林業機械による森林整備

- ① 林業専用道整備事業（団体営）
四六、三四九千元
- ② 森林管理道整備事業（県営）
一六五、九〇〇千元
- ③ 森林管理道整備事業（団体営）
二一八、六〇六千元
- ④ 森林居住環境整備事業（県営）
（平成二四年度補正）
六三、〇〇〇千元
（平成二五年度当初）
- ⑤ 山のみち地域づくり交付金事業
五五三、〇七〇千元
- ⑥ 林道改良事業
三六七、五〇〇千元
- ⑦ 林道舗装事業
一一、八九〇千元
- ⑧ 県単林道事業
九、〇二七千元
- ⑨ ふるさと林道緊急整備事業
五六、四八五千元
- ⑩ 路網整備事業（森林整備加速化・林業再生基金）
二二六、六五〇千元
- ⑪ 森林整備促進路網整備事業（森林環境基金）
三七、五〇〇千元
- ⑫ 間伐材搬出支援事業（森林環境基金）
二五、〇〇〇千元
- ⑬ 林道点検診断事業（県営）
（平成二四年度補正）

- ⑭ 林道保全事業（団体営）
（平成二四年度補正）
二四、二五〇千元

■公有林・種苗関係

海岸林の復旧に必要な苗木を確保するため苗木生産者が行う施設整備を支援します。

また、種苗では海岸防災林等の造成に必要なマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ等の種子確保と、花粉の少ないスギ苗の供給体制整備へ集中的に取り組みます。

さらに、復興需要に因應するため、県営林の売り払い面積を拡大するほか、伐採収入を財源として保育間伐を拡充します。

- ① 林業種苗生産施設体制整備事業
三〇、七六一千元

- ② 県営林の保育管理事業
八二、五九一千元

- ③ 育種育苗事業
五、八三六千元

- ④ 花粉の少ない森林づくり事業
二、七五〇千元

- ⑤ 林業公社事業
八〇七、〇六四千元

■災害復旧関係

平成二三年及び平成二四年に発生した豪雨などによる林道の被災箇所について、災害復旧事業の進捗を図るなど、異常気象により被災した林道の復旧を支援します。

- ① 林道災害復旧事業（現年災）
三二二、七九二千元
- ② 林道災害復旧事業（過年災）
一、二三〇、三四一千元

森林づくり運動の推進と安全で快適な県土形成 ▼ 森林保全課

森林保全課では、森林病虫害から森林を守る森林保護及び県土の緑化・森林づくり運動の推進、安全で快適な県土形成のための治山事業、保安林制度を通じた保安林の適正管理、民有林の森林を開発する際の審査・指導を行う林地開発許可制度に関する業務を担当しております。

森林とのふれあいの場や県民参加による緑化活動と森林づくり運動を支援し、森林を県民全体で支える意識の醸成に取り組むこととしております。

■森林保護

- ① 森林病虫害等防除事業
七〇、五五七千元
- ・ 松くい虫の防除
薬剤防除・伐倒駆除・樹幹注入
ほか
- ・ カシノナガキイムシ対策

■森林とのふれあい・緑化活動の推進

- ① 総合緑化対策事業

また、「県民の森」を始めとする

◆森林保護と森林づくり運動
松くい虫やカシノナガキイムシ等による被害から、貴重な森林を守るための防除対策を実施します。

② 森林総合利用対策事業
九、二五七千円

③ 森林とのふれあい施設管理事業
三、四四六千円

九五、五八八千円

■森林環境基金事業

① 森林環境学習の森整備事業

一五、九四〇千円

② 森林ボランティア総合対策事業
九、一八九千円

③ 森づくり指導者育成事業
二、三〇〇千円

◆治山事業による県土の保全

治山事業は、民有保安林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全するとともに、水源のかん養、生活環境の保全・形成を図り、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るうえで不可欠な事業です。

平成二五年度の治山事業は、被災地の復旧や予防、森林の機能強化などの事業を効果的に実施し、山地災害に対する減災対策を図るとともにコスト縮減等に積極的に取り組み効率的な予算の執行に努めます。

県単独治山事業については、国庫補助事業に採択されない被災地の復旧及び予防が必要な地区のうち、緊急性や優先度を総合的に勘案し、箇所毎の優先順位を適正に定め順次執行していくこととしています。

全庁的に展開している「地産地消の推進」については、県産間伐材を利用した森林土木工法の推進や平成十四年度から導入している治山ダムの間伐材

型榨工等により、平成二五年度の木材使用目標量を一、五〇〇立方メートル以上としています。

また、森林GISを活用し、最新の山地災害危険地情報を県民に提供することなど、ソフト対策を拡充することにより、防災意識の高揚や避難態勢の整備が図られ、減災効果の向上に寄与することを期待しています。

■一般治山費

(二五年度当初)

三、五六二、六八四千円

(二四年度補正)

八二八、六八一千円

① 復旧治山事業

(二五年度当初)

六三五、五一一千円

(二四年度補正)

五二五、八七〇千円

② 地すべり防止事業

(二五年度当初)

二一〇、七三三千円

(二四年度補正)

一六八、三六七千円

③ 防災林造成事業

(二五年度当初)

一一、五九六、〇〇〇千円

(二四年度補正)

四八、七六四千円

④ 水源地域等保安林整備事業

(二五年度当初)

四九、三五〇千円

(二四年度補正)

一九、一一〇千円

⑤ 保安林整備事業

(二五年度当初)

(二四年度補正)
七一、〇八五千円

■一般治山費(県単)

(二五年度当初)

六八〇、五五二千円

(二四年度補正)

六七一、八〇〇千円

① 予防治山事業

(二五年度当初)

三九二、九七八千円

(二四年度補正)

五三六、四四六千円

② 山地災害総合減災対策治山事業

(二五年度当初)

一八三、九五四千円

(二四年度補正)

一一八、六三四千円

③ 保安林整備事業

(二五年度当初)

五、二五〇千円

(二四年度補正)

六、七二〇千円

■災害関連治山費

① 災害関連緊急治山事業

二〇、六八八千円

② 林地崩壊対策事業

一七、一三六千円

③ 県単治山費

三、五五二千円

④ 治山施設事業(県営)

九五、三八九千円

⑤ 治山施設事業(補助)

六一、六五〇千円

⑥ 治山施設管理事業

二九、六二九千円

④ 県単治山調査事業

一、五四一千円

■治山災害復旧費

二、二六七、一六一千円

◆安全で快適な暮らしを守る保安林の管理と適正な林地の利用と森林パトリールの実施

現在、県内には国有林と民有林合わせて森林面積の約三八割、約三七万畝が保安林に指定されています。

水源のかん養や山地災害の防備・生活環境の保全形成等、私たちが安全で快適に暮らせるように、特に重要な森林を保安林として指定し保全するとともに、伐採の規制と適切な実施を実施することなどにより適正に管理し、森林の機能の維持増進を図るものです。

また、森林の保全や適正な利用促進のために森林パトリールを実施します。さらに、森林において土石を採掘したり、林地以外に転用する行為は、無秩序に行われると森林の働きが損なわれ災害が発生するおそれがあることから、林地開発許可制度による審査や指導を行います。なお、重要な事項を審査する場合は、外部意見の聴取のために森林審議会森林保全部会を開催します。

① 森林保全管理事業

八、五五一千円

② 保安林整備委託事業

二五、五五五千円

③ 保安林整備管理事業

一四、九〇〇千円

特集『福島の桜』

福島県には、国の天然記念物「三春の滝桜」をはじめ数多くの桜の名所があります。今回は、NHK大河ドラマ『八重の桜』に因み、「会津の五桜」をはじめとする各地域より歴史ある名木の一部を紹介します。

【石部ザクラ】 会津若松市・エドヒガン

樹齢：600年 樹高：11.5メートル 幹周：2.7メートル

大河ドラマ『八重の桜』オープニングに出てくる桜です。白虎隊の悲劇で知られる飯盛山北側の田んぼの中で、びのびと枝を広げている堂々たる姿は見事です。

中世会津の領主芦名氏の重臣、石部治部大輔の庭にあったことから、名前がつけられたそうです。

幹が根元から8本に分かれ、幹全体の枝張りは20メートルに及ぶ巨大なエドヒガンザクラで、「会津五桜」の中で1番早く開花します。淡いピンク色の花を咲かせます。

※会津五桜
「石部桜」「薄墨桜（会津美里町）」「虎の尾桜」「大鹿桜」「杉の糸桜（会津坂下町）」



【大鹿桜】 猪苗代町・サトザクラ

樹齢：1,100年 樹高：14メートル 幹周：2.1メートル

磐梯山の麓に鎮座する、標高600mの磐梯神社境内にあります。本州で最も遅い開花の桜とされています。（満開は5月中旬。）

天曆元年（西暦947）、村上天皇の勅使が、神社参拝の折に、京都から持ってきて植えたと言われています。東北で唯一の菊桜で、「会津五桜」のひとつです。福島県緑の文化財登録第1号の桜です。

名前の由来は、開花の時は花の色が白色だが、その後はピンク尾色に変わり、最後は鹿の毛の色に移っていくことから、名前がついたそうです。開花期間が長いことから、「翁桜」とも呼ばれています。



【虎の尾ザクラ】 会津美里町・サトザクラ

樹齢：200年 樹高：8メートル 幹周：1.8メートル

三重塔で知られる法用寺観音堂の北側にある名木で、「会津五桜」のひとつです。

この桜は縁起書によれば徳一大師が植えたことになっています。

花は特殊な構造を持っていて、八重で淡紅色、非常に美しい珍花です。

名前の由来は、枝の伸びた桜全体の形が虎の横たわる姿に見立てた説と、おしべの変化した旗弁が花の中央から出ているところからそう呼ばれるようになったという説があります。



【乙姫ザクラ】 白河市・エドヒガン

樹齢：400年 樹高：13メートル 幹周：3.4メートル

白河市役所の近く妙閑寺に有る紅枝垂れ桜です。桜は山門をくぐって、すぐ右手に立っています。朱塗りの山門と鐘楼と、そして乙姫桜と…見事に絵になる風景です。

東北地方に多い紅枝垂れ桜ですが、今から400年前、仙台藩主伊達政宗が將軍家に桜の苗木を献上する途中、白河で休憩した際に、当時の住職が懇願してそのうちの苗木一本を譲受し植えたものが今でも元気に咲いています。

寒冷地仕様なので、白河より南に植えたものは江戸城のも含め上手く育たなかったようで、この桜が一番南に咲いています。名前の由来は、通常の桜よりもピンク色が濃くて花びらが普通の桜より小さい、俯く様に枝垂れているところが、「乙女の姿」を思わせることからの命名だそうです。



【合戦場のしだれ桜】 二本松市・エドヒガン

樹齢：170年 樹高：18メートル 幹周：3.3メートル

国道459号沿いにあり、菜の花に囲まれた里山に立つ桜です。平安後期に朝廷の命で奥州征伐に来た八幡太郎義家と地方豪族の阿部貞任、宗任兄弟が戦った場所らしいので、合戦場のしだれ桜と名前がついたそうです。

力強い一本桜ではなく、実は二本の木が寄り添うように咲かせており「めおと桜」とも呼ばれています。

流れ落ちるような見事な花と、手前に広がる菜の花の黄色とコントラストは絶妙です。



【紅シダレ地藏ザクラ】 郡山市・エドヒガン

樹齢：400年 樹高：16メートル 幹周：4.2メートル

郡山市中田町にあり、三春の滝桜の娘と呼ばれていて、見事な枝振りと鮮やかな紅色かかった花が大変評判です。この桜の下には地藏堂があり、昔から赤ん坊の短命、夭折の難を逃れるために、願掛けが行われていたそうです。

根本にある地藏堂を両手をひろげて守るように立っている姿は、優しさと強さを持ち合わせた風情があります。三春の滝桜と同じで、ピンク色の小さな花が枝いっぱいについて、艶やかな姿です。



目指せ！平成30年全国植樹祭招致

緑の募金 ご協力をお願いします

- 緑化運動標語「今植えた 木々が未来へ 夢運ぶ」
- 募金運動の期間
4月1日～5月31日（春の新緑シーズン）

平成25年度 募金による主な事業内容

1. 募金目標額 70,000,000円
2. 事業内容
 - (1) 東日本大震災からの復興
ふれあいの森林づくり、森の教室の開催等
 - (2) 森林の整備
国民参加の森林づくりの推進、緑化木配布等

- (3) 緑化の推進
緑の少年団の育成、地方植樹祭・育樹祭の開催、花いっぱい県民運動、緑の写真コンクール等

■緑の募金についてのお問い合わせは下記まで

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
各市町村緑化推進委員会（市役所、町村役場内）
 〒960-8043 福島市中町5-18 福島県林業会館3F
 TEL：024-524-1480 FAX：024-521-3246
<http://www.fukushima-green.jp/>

ふくしま県産木材利用 促進研修会の開催

■県北農林事務所
林業普及指導員 油井 竜太

放射性物質による木材汚染の風評被害を払拭するため、県では製材品の放射線測定等を通して県産木材の安全性を確認してきたところであり、課題は、県産木材の安全性のPRと併せて、県産木材の利用促進をどのように図っていくかが重要となっています。

そこで、県産木材の利用促進にあたっての課題の把握や意識の醸成等を目的として、平成25年2月25日に福島市吾妻学習センターにおいて、県北農林事務所の主催により、管内の森林管理署、県、市町村の公共団体に加え、森林組合、木材産業関係業者等を参集して、研修会を開催しました。

はじめに、県産木材を使った住宅建築に取り組むグループ「ふくしま家づくりネットワーク」の会長川崎直竹氏から、『地域に根ざした家づくり』と題して講演がありました。県産木材を使用した建築事例の紹介や、地産地消の家づくりの現状と課題について理解を深めました。

その後、製材、チップ業で県産木材利用に取り組む福島市内の吾妻林業株式会社で現地視察を実施しました。木材表面の放射線量を自動測定するシステムの実演や、バーク処理（粉碎バークのベアラー処理）の取組み状況等について説明を受けました。

続いて「ふくしま家づくりネットワーク」が建築した福島市内の住宅展示場「ふくしまの家きなり」を視察しました。地元の杉・檜・栗材をふんだんに使用した住宅で、優秀な職人の技と共に木のぬくもり、やさしさを実感しました。

今回の研修で、県産材の利用促進のためには、木材の品質と安全安心の確保が重要課題であることを認識するとともに、管内における県産材利用の取組事例や放射能対策に関する最先端の技術について学ぶことができました。

今後も、県産木材は安全であるということをPRしていくと共に、まずは公共建築物や公共土木事業等における県産木材の利用拡大を図るため、関係団体と連絡体制の強化や情報共有に努めていきたいと思えます。



吾妻林業(株)現地視察の様子



県産材を使用した住宅展示場視察の様子

きのこで地域を元気に (公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

木連だより

**「うつくしま
住まいとリフォーム博」
への出展**

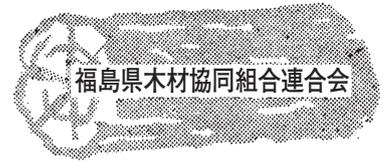


県産材を使った木構造モデル

東日本大震災の影響で二年間中断していた「うつくしまリフォーム博」（ラジオ福島主催）が三月十六日（土）～十七日（日）郡山市のビックパレットふくしまにおいて開催され、県木連も出展して県産材の安全性、優位性のPRに努めました。

（1）木構造モデルの実物展示

〈展示等の内容〉



県産材の放射線量についての説明

県産材を使った構造部材等により一〇畳（二六・二平方メートル）の実物の部屋を展示し、来場者が見て、触れて木材の良さを体験していただきました。

（2）パネルによる福島県産材のPR

①「福島県産材は安心です」

福島県産材を安心して使っていたくため、木材業界

では放射線量の自主管理基準値を定め、各工場で放射線量を測定して出荷していることをアピールした。

②「福島県産材は安全です」
福島県が定期的に測定している県内製材品の放射線量の数値を示し、使用しても安全であるとのPRを行った。

③ 福島県産ブランド材「とつてお木」

品質の確かなブランド製材品「とつてお木」の普及・啓蒙を図った。



パネルによる福島県産材のPR

（3）リーフレット及び

サンプル材の配布

福島県産材の安全性及び優位性を紹介したリーフレットと県

（4）ワークショップ

「マイ箸作り体験」

ヒノキの木片から、自分専用の箸作りを体験して、木の良さを体感していただきました。



マイ箸作り体験



県産材を使っでの部屋づくりの提案

森林管理署メモ

大窪湿原自然観察 教育林における 森林環境教育のための 条件整備



大窪湿原の秋

自然観察教育林に指定されている「大窪湿原」（標高一、〇〇〇〜一、一〇〇）は、福島県南西部（会津昭和高原）に位置し、ブナを主とする広葉樹林に囲まれ、ワタスゲ、リュウキンカ、ミズバショウ等の湿原植物が生育する湿原が点在し、優れた自然景観を形成し、自然探勝・観察等に適した地域です。

(3) 景観の整備

観察路として利用できるよう配置・整備しました。

(2) 湿原回復に必要な作業路は、観察路として利用できるよう配置・整備しました。

(1) 間伐材等を利用し、掘割の堰き止め

(2) 湿原に侵入した灌木類の除去

(3) 観察路の整備

(4) 湿原回復に必要な作業路は、観察路として利用できるよう配置・整備しました。

(1) 間伐材等を利用し、掘割の堰き止め

(2) 湿原に侵入した灌木類の除去

(3) 観察路の整備

(4) 湿原回復に必要な作業路は、観察路として利用できるよう配置・整備しました。

(1) 間伐材等を利用し、掘割の堰き止め

(2) 湿原に侵入した灌木類の除去

(3) 観察路の整備

(4) 湿原回復に必要な作業路は、観察路として利用できるよう配置・整備しました。

低下による灌木類の侵入が見られ、湿原の景観が損なわれてきています。このことから、湿原の回復、そして満足できる自然観察が可能となるよう観察路の整備及び眺望箇所を整備し、大窪湿原自然観察教育林の質的向上を図るものです。

一 具体的な取組

(1) 湿原の回復

過去に、大窪湿原を造林地にするために作設した掘割が水位の低下をもたらし、湿原の植生が減退してきていることから、次の施工を行い湿原の回復を試みました。

① 間伐材等を利用し、掘割の堰き止め

② 湿原に侵入した灌木類の除去

③ 観察路の整備

④ 湿原回復に必要な作業路は、観察路として利用できるよう配置・整備しました。

⑤ 間伐材等を利用し、掘割の堰き止め

⑥ 湿原に侵入した灌木類の除去

⑦ 観察路の整備



会津森林管理署



大窪湿原秋の眺望

(2) 立木除去により、湿原内の眺望

眺望を妨げている立木の除去を実施しました。

(4) 自治体関係

教育林が所在する昭和村は、以前に、「緑の回廊整備プラン」の報告書を作成し、大窪湿原等の優れた自然を紹介するなど、グリーンシーズンの入り込み者の増加による村の活力の向上に取り組んだ経緯があります。

(1) 湿原の掘割の堰き止めを実施した箇所は、水位が上昇し、湿原の良好な環境条件になったことや灌木類の除去により、潜在していたミズバショウ等の確認ができました。また、掘割の測量により、灌木の侵入を促していた掘割の全体像が把握できました。

(2) 立木除去により、湿原内の眺望

(3) 昭和村からは、当署が取り組んだ

が向上しました。

湿原の回復、観察路の整備について、その継続により村の活力向上の一つとして期待できるものであり、今後の連携を村として検討したいとの確認を得られました。

二 取組の結果

が向上しました。

昭和村からは、当署が取り組んだ

湿原の回復、観察路の整備について、その継続により村の活力向上の一つとして期待できるものであり、今後の連携を村として検討したいとの確認を得られました。

が向上しました。

昭和村からは、当署が取り組んだ

湿原の回復、観察路の整備について、その継続により村の活力向上の一つとして期待できるものであり、今後の連携を村として検討したいとの確認を得られました。

が向上しました。

昭和村からは、当署が取り組んだ

湿原の回復、観察路の整備について、その継続により村の活力向上の一つとして期待できるものであり、今後の連携を村として検討したいとの確認を得られました。



リュウキンカ

三 今後の課題

この度の植生の回復、自然の再生の取組により、掘割の堰き止め効果や同施工の必要な位置等が洗い出されました。

今後も、湿原全体を回復させ、自然観察教育林としての質的向上を図るため、有効な堰き止め方法や水位観測、植生調査を行い、水位変化による植生の変移を見守ることとします。また、地元自治体をはじめ地域関係者の支援を得て、地域の意向を反映した取組となるよう進めていく考えです。

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(1月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~9)	0	(0~0)	0	9 (9~9)	0	9 (8~9)	0
		10~13		並	スギ	9 (9~10)	0	8 (6~10)	0	10 (10~10)	0	9 (6~10)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	11 (11~11)	0	9 (8~9)	0	10 (10~11)	△1	10 (8~11)	0
				並	ヒノキ	15 (13~17)	0	(0~0)	0	16 (15~16)	1	15 (13~17)	0
		20~28	6.00	並	スギ	17 (15~19)	0	(0~0)	0	15 (15~15)	0	16 (15~19)	0
				並	ヒノキ	26 (24~28)	2	(0~0)	0	25 (25~25)	0	26 (24~28)	1
	外	30以上	10.00	並	スギ	11 (11~12)	0	11 (10~12)	0	11 (10~12)	0	11 (10~12)	0
				並	アカマツ	10 (8~12)	0	13 (13~13)	0	9 (9~9)	0	10 (8~13)	0
		28以下	4.00	並	アカマツ	7 (5~8)	0	9 (9~9)	0	8 (8~8)	0	7 (5~9)	0
				並	米ツガ	22 (22~22)	0	(0~0)	0	23 (23~23)	1	23 (22~23)	1
材	70~90	8~14	並	米マツ	25 (25~26)	0	26 (26~26)	0	24 (22~26)	0	25 (22~26)	0	
			並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	23 (23~23)	1	23 (23~23)	1	
	北洋材	28以下	4.00	並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	22 (22~22)	0	22 (22~22)	0
				並	カラマツ	19 (19~19)	*	(0~0)	0	19 (19~19)	0	19 (19~19)	0
南洋材	70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

十二月の原木市場への入荷状況は、前月比五割減(前年比二割増)の二六、九七九立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比八割減(前年比四割増)の二六、八四一立方メートルとなっている。
 一月の価格については、保合である。

このことから、自分たちの木という考えからみれば、針葉樹のイメージが大きいのかなあ? 戦後造林が進んだスギ、アカマツなどが多いのかと思われまます。田村スギというブランドもあるようです。

市町村の木を見てみますと、針葉樹を代表とするスギが石川町、古殿町、小野町の三町にあり、アカマツは須賀川市、玉川村、平田町、浅川町の四市町、天栄村もマツとエンジュとなっており、これもアカマツとするとアカマツは五市町村になり約四割を閉めています。田村スギと



県中農林事務所管内の木はなんですか?

前県中農林事務所(現南会津農林事務所) 森林林業部副部長

人見雅之

県中農林事務所管内に似合う、イメージ出来る木は何だと思えますか?
 管内の森林資源を見てみますと、民有林面積で針葉樹が五一割、広葉樹が四七割となっております。蓄積では針葉樹が八二・四割、広葉樹が一七・六割となっております。蓄積が充実しています。ちなみに、人工林率(面積)では四七・二割となっております。

市町村の木は新緑、紅葉に生える「なら」の木です。
 市町村にはスギを市町村の木にしているところはあります。田村市は新緑、紅葉に生える「なら」の木です。

ただ桜が三春町、鏡石町、ヤマザクラが郡山市と三市町が桜の木を選んであり、県中管内の木に彩りを添えていると云うところです。
 県中管内の木は何が似合いますか?



県中管内の木のひとつ...

はなしの
ひろば

スマイレの季節（その2）

ナガハシスマイレという花の後の出っ張り（距という）が長い、県内でも普通に見られるスマイレがある。テングスマイレとも呼ばれている。このスマイレの世界での分布は、日本と北米大陸北東部に限られ、著しい隔離分布をしている。同じ種類とされているが、先日行われた研究発表会では、日本と北米のスマイレの遺伝子解析の結果、それぞれ別の種類のスマイレが同じような形態に進化した可能性があるとして、福島大学の学生さんが発表していた。

県内でも隔離分布をしているスマイレがある。会津の積雪地帯には、オオバキスマイレという黄色い花のスマイレがある。日本海側に生育する代表的なスマイレである。このスマイレが、浜通り北部の山間地域でも見られる。

生育地の市史では、オオバキスマイレとしている。ナガハシスマイレほどではないが、れつきとした隔離分布の一例である。

一方、オオバキスマイレと分布（北海道南部・青森県・岩手県・宮城県の太平洋側に分布）が異なるフチゲオオバキスマイレという変種がある。浜通りのキスマイレは、形態や生育状況が文献に記載されているフチゲオオバキスマイレの特徴を備えているので、オオバキスマイレの隔離分布の一例であるとともに、フチゲオオバキスマイレの南限としても整理されるべきと思う。

団地の雑木林の縁にアオイスマイレを見つけたことがあった。綺麗な花だったので写真を撮ろうと地面に俯せになって風の静まるのを待っていた。突然、「大丈夫かい？」と声がかかった。顔を上げると心配顔で農家のおじさんが立っていた。思わず立ち上がり、「すみません。スマイレの写真を撮っていました。」と答えると、「スマイレの写真ね」と戻っていった。個人的な趣味の世界なので誰にも迷惑をかけていないと思っていたが、地面に横になって長いこと動かないので、心配して声をかけてくれたようだ。おじさんの背中に「人騒がせな。」という文字を見た気がした。

数年前、市街地にある農業高校の実習園場の畦でアリアケスマイレというスマイレの群落を見つけた。昔は田んぼの畦に普通に見られたスマイレだが、最近は少なくなっているという。自然との距離が益々遠くなっている現在、農業高校に農業と自然が深く関わっている姿が残されていることは、農業高校の新たな役割・可能性を感じさせる出来事だった。

スマイレは、海岸線から高山地帯、水辺から乾燥地まで実に幅広く生育している。しかしながら、環境の変化には敏感で、環境が変わると、突然姿が消えたり、新たなスマイレが咲き出したりする。特に、里地・里山は人間により管理されていたので、優先する草も少なく、スマイレの生育には適した場所であった。特定の種類にこだわらなければ、私たちの生活する近くで、実に多くのスマイレを見ることが出来る。スマイレも人間の生産活動に依存してきた植物の一つなのである。

安達重風

表紙の写真



「緑のカーテン」

平成24年度 第27回ふくしま緑の写真コンクールで金賞となった藁谷六朗さん（浅川町）の作品。

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

福島県農林業公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

発行人

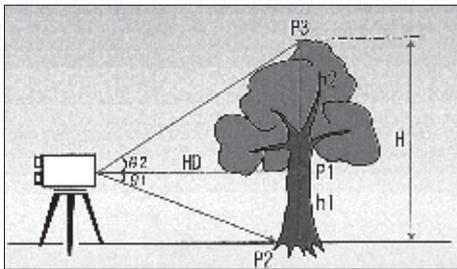
相馬 雅俊

陽光社印刷株式会社

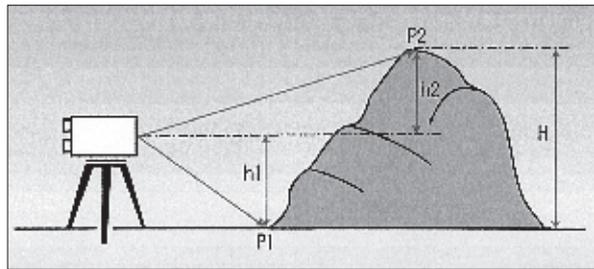
（定価 一〇五円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

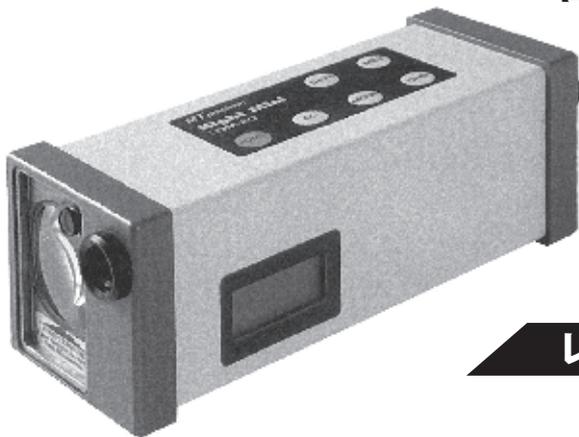


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



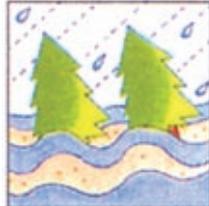
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



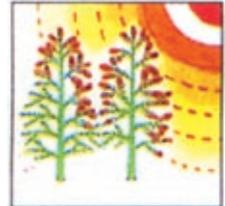
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



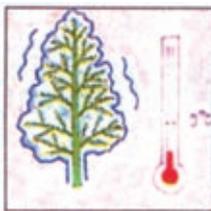
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (巣退治)
ハチノックS (携帯用)

大切な日本の松を守る 住化グリーンの林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパーシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,543,750(税込)

プロソー



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1